

ジェンダー平等のレジリエンスな 教育・研究プラットフォーム

— お茶大女性リーダー育成塾…**徽音塾** —

お茶の水女子大学は、1875年(明治8年)に日本初の女性のための高等教育機関、東京女子師範学校として設立されて以来、社会で活躍する多くの女性を輩出してきた。4年後の2025年には創立150周年を迎える。本学にはナーサリー、幼稚園、小中高の附属学校園から大学、大学院、そして文京区から委託を受けて運営することも園がある。2014年5月には、新たにキャリアアップを目指す女性のための「お茶大女性ビジネスリーダー育成塾…徽音塾」を開講し、全ての学びのライフステージが同一敷地内にあるという理想モデルとなる環境を完備している。徽音塾では2020年度までに約260名の塾生が学びを深め、それぞれの立場で可能性を開花させている。

日本のジェンダー平等の 推進に果たす役割

徽音塾の使命は、女性が意欲的に学ぶ場を創造し、イノベーションに寄与し得る女性リーダーを輩出し、さらには女性が活躍する社会を実現していくことである。2021年3月に世界経済フォーラムによって公表されたジェンダーギャップ指数(GGI: Gender Gap Index)で日本は、156カ国中120位で先進国の中で最低レベル、アジア諸国の中で韓国や中国、ASEAN諸国よりも低い結果となった。日本は、特に「経済」および「政治」における順位が低く、「経済」の順位は156カ国中117位であった。各国がジェンダー平等に向けた努力を加速している中

お茶の水女子大学長

佐々木 泰子
ささき やすこ



で、日本が後れを取っていることが明らかとなっており、お茶の水女子大学、徽音塾が日本のジェンダー平等の推進に果たす役割は大きい。加えて、改訂コーポレートガバナンス・コードにおける3つの大きな柱のうちの1つ、「企業の中核人材における多様性(ダイバーシティ)の確保」(女性・外国人・中途採用者の管理職への登用など、ダイバーシティの推進)にも貢献するものである。

人生100年時代と言われる現代、「教育・仕事・引退」という従来のライフステージでの生き方は不可能になってきている。そこで新たに提案されるマルチステージの人生では、年齢にとらわれず多様で個性的な人生を送ることができ、「新しい生活規範」が必要とされる。加えて、他の国・地域と比較してこれ

まで日本は移民が少なく、世界に先駆けて高齢化が進行し、従来の労働形態のままでは生産年齢人口の減少が顕著となる中、何歳になっても学び直しができるリカレント教育の重要性は年々増している。

講座をリニューアル

——より多様な分野・立場での
リーダーシップ発揮を目指す
女性を応援

開講から6年を経過した今年(2021年)5月には、リキッド・モダニティ(液状化する社会)および時代の要請にこたえるべく、微生物塾の社会的意義を再考し、企業等で指導的立場に就くことを目指す女性だけでなく、より多様な分野・立場でリーダーシップを発揮することを旨とする女性を応援するための「お



お茶の水女子大学のシンボルである講堂「微生物塾」

茶大女性リーダー育成塾「微生物塾」としてリニューアルを行った。

新たな微生物塾の特色は、次の通りである。

——少人数制

全科目それぞれ30名を定員とし、塾生同士や講師と塾生間のグループワーク、ディスカッションを活性化し、誰もが積極的に発言できる雰囲気をつくり出している。

——受講者は女性のみ、年齢・職種も様々

年齢も職種も肩書も異なる女性が肩を並べて学ぶことにより、考えや悩みを共有し、解決策を共に考え、異業種・他分野の人とのネットワークづくりを促している。

——リーダーシップを発揮するための知識や

教養、スキルを幅広く提供

創設時から設置している「女性のエンパワメント」とリーダーシップ講座」「ビジネス講座」に加え、各々のパーパスを追求するための深い知識と高度な教養を本学教員から学ぶ「お茶大プロフェッショナルレクチャー」を開講し、最新技術・研究成果に触れつつ、社会課題に対応できる力を身につける機会を設けている。

——全講座・科目をオンラインで提供

2021年度は全3講座(計20科目)をオンラインで受講できる体制を整え、国内外のどこからでも微生物塾にアクセスできる状況を設定している。受講は1科目から受講可としており、自身の状況や都合に合わせて受講科目数を設定できる。

——ネットワークランチを開催

ランチを兼ねてネットワークを構築するた

めの交流会(オンライン・ネットワークランチ)の場を提供している。月1回程度開催し、受講後のキャリア変化やその後の活動報告などもこの交流会を活用している。塾生に限らず、就業経験のある女性であれば参加可能である。

なお、講座は週末(土曜日)に開講され、1講座からでも受講が可能である。今年度はコロナ禍のため全講座がオンラインで提供されているが、これまでは微生物塾の名前の由来となった本学のシンボルである講堂「微生物塾」で開講式を行い、受講生には本学の施設の一部が使えるなどの特典が付与されていた。コロナ禍後のニューノーマル時代の開講方式については今後検討の予定である。初めての試みであるが、今年度は企業の社員研修の一環として16名の受講生を受け入れることとなった。今後は企業との共同プログラムの可能性を積極的に探っていく。

微生物塾のキャッチフレーズ「まなぶみながつながる→一歩前へ!」は、「グローバル女性リーダーの育成」という本学の社会的使命をも表現するものである。お茶の水女子大学は、微生物塾が無形の資産を築き、他の人々と協奏し、そしてイノベーションに寄与する女性達の学びの場となるよう全力で取り組んでいく。

(参考)

微生物塾ホームページ <http://www.w-clohaac.jp/leader/kin/>

微生物塾 Twitter <https://twitter.com/kinjuku>

微生物塾 OCN <https://sites.google.com/view/kin-og/>